

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	08 茨城県
市区町村名	08210 下妻市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
08210 下妻市	①学校運営上の課題	01 教職員の 時間外勤務の 是正	教員不足により、教員1人当たりの負担が増え、時間外勤務の増加や児童生徒と接する時間、教材研究の時間の確保が難しくなっている。	市内全ての小中学校にOSを導入され2年目となる。各校1名配置した地域学校協働活動推進員が、学校と地域をつなぐハイレベル役として学校の求めに応じたボランティアを派遣し、学習支援・環境整備・登下校の見守り等、教員の業務負担軽減、児童生徒の学習意欲の向上に努めた。	・市立小中学校に地域学校協働活動推進員及び地域連携推進教員を各1名ずつ配置し、学校と地域との連絡調整がスムーズに行えるようにした。 ・地域学校協働活動推進協議会を定期的に実施し、各学校の取り組みなどを参考にして、持続可能な活動を目指した。 ・地域学校協働活動推進員を中心として、ゆるやかなネットワークづくりに努めた。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	時間外在校時間	時間	28.36	28.20	29.65	本年度、昨年度と同様に、教職員が担っていた登下校の見守りボランティア等を充実させ、学校と地域の協働活動を推進しようとする学校が多く見られたが、教員の時間外勤務時間が増え続いた。教員がボランティアの募集や日程調整は行わず、コーディネーターに窓口を一本化する体制を構築するなど改善策を考える必要がある。	下妻市のHPで公開予定 https://www.city.shimotsuma.lg.jp

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。